

Firefox OS アプリ開発ハンズオン

情報通信技術教育者合同会議2014 2015/03/10

Mozilla Japan テクニカルマーケティング

清水智公

Doing good is
part of our code.

mozilla.org/firefox



PORT OF OAKLAND





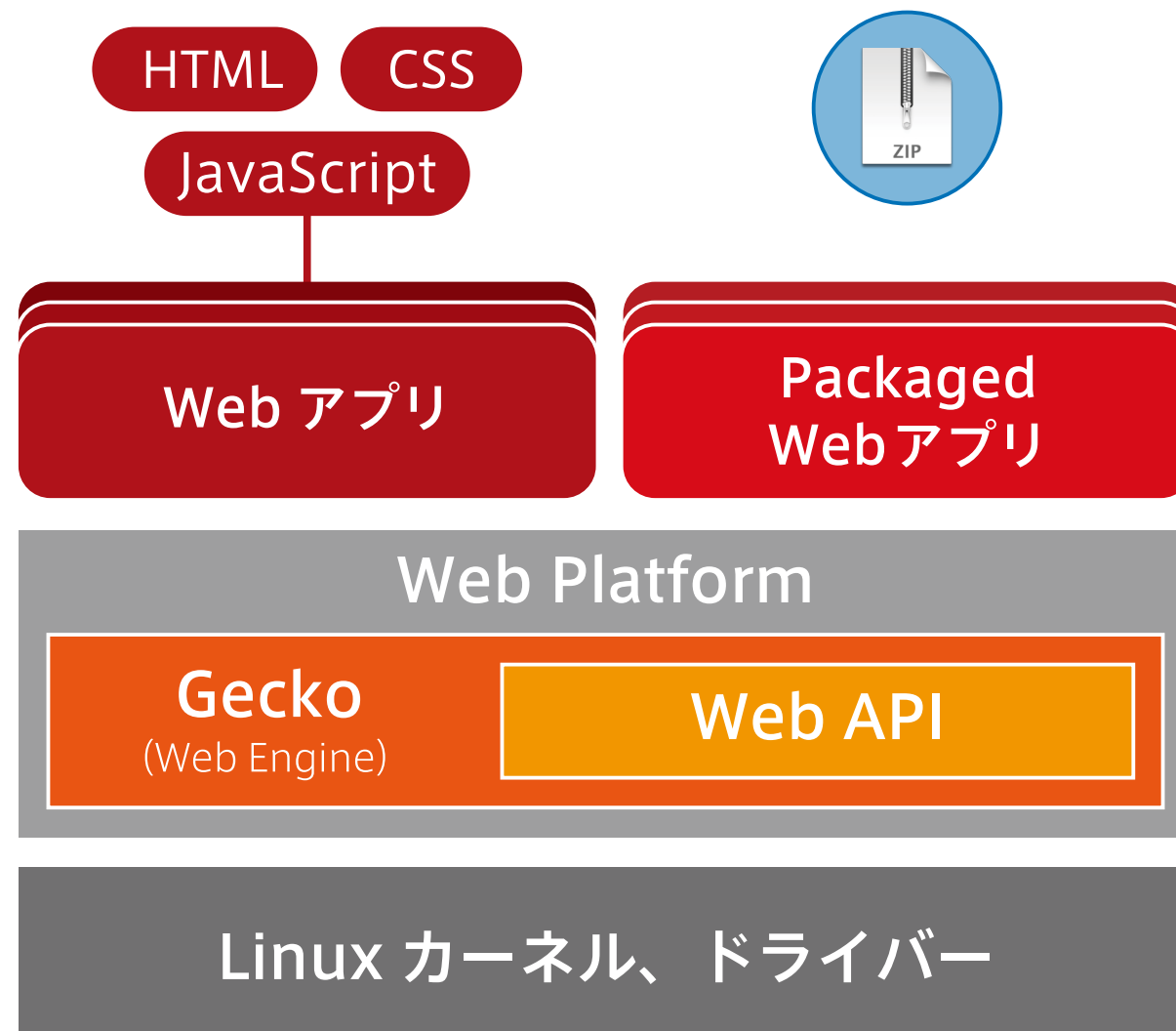
Firefox OS

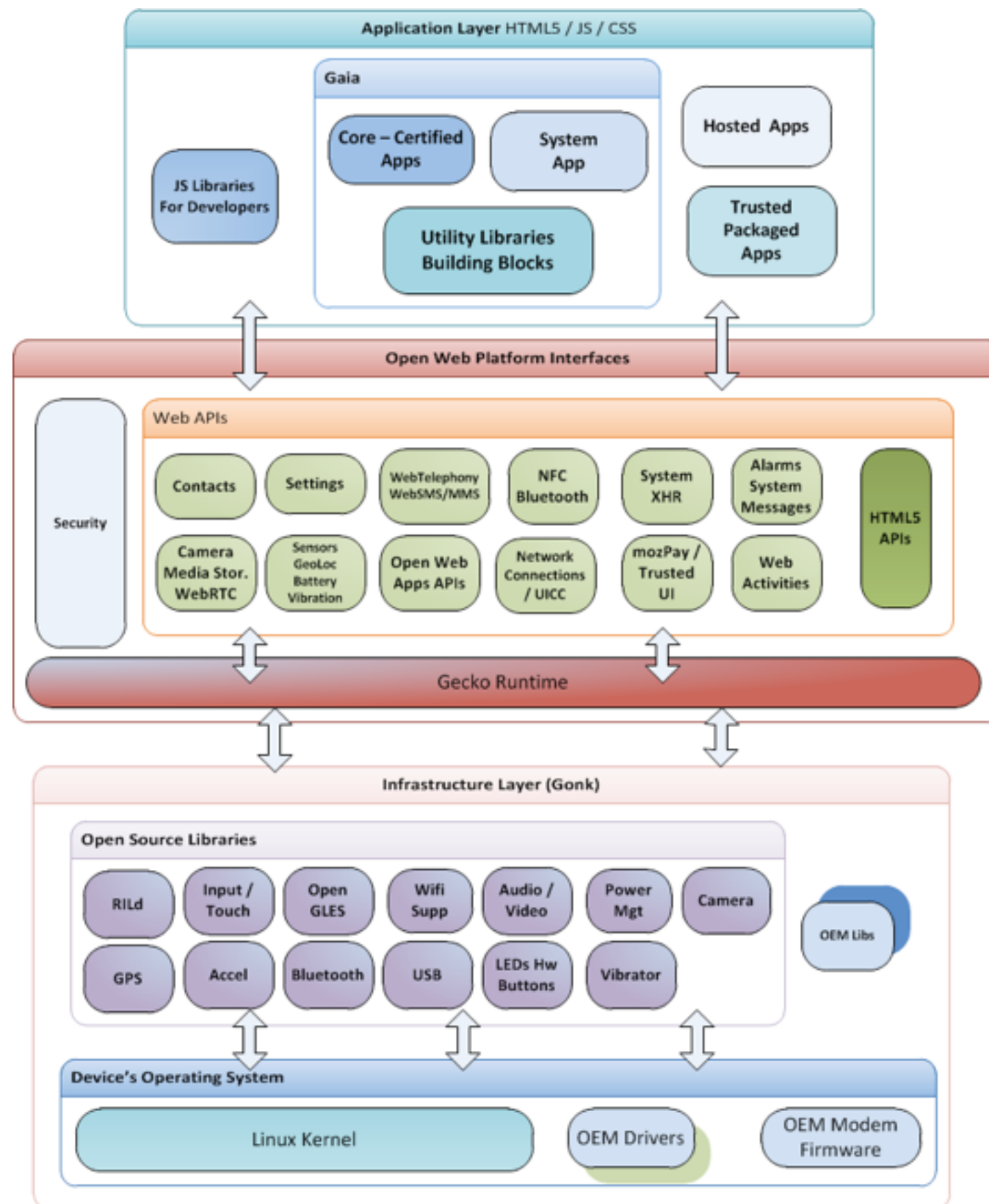




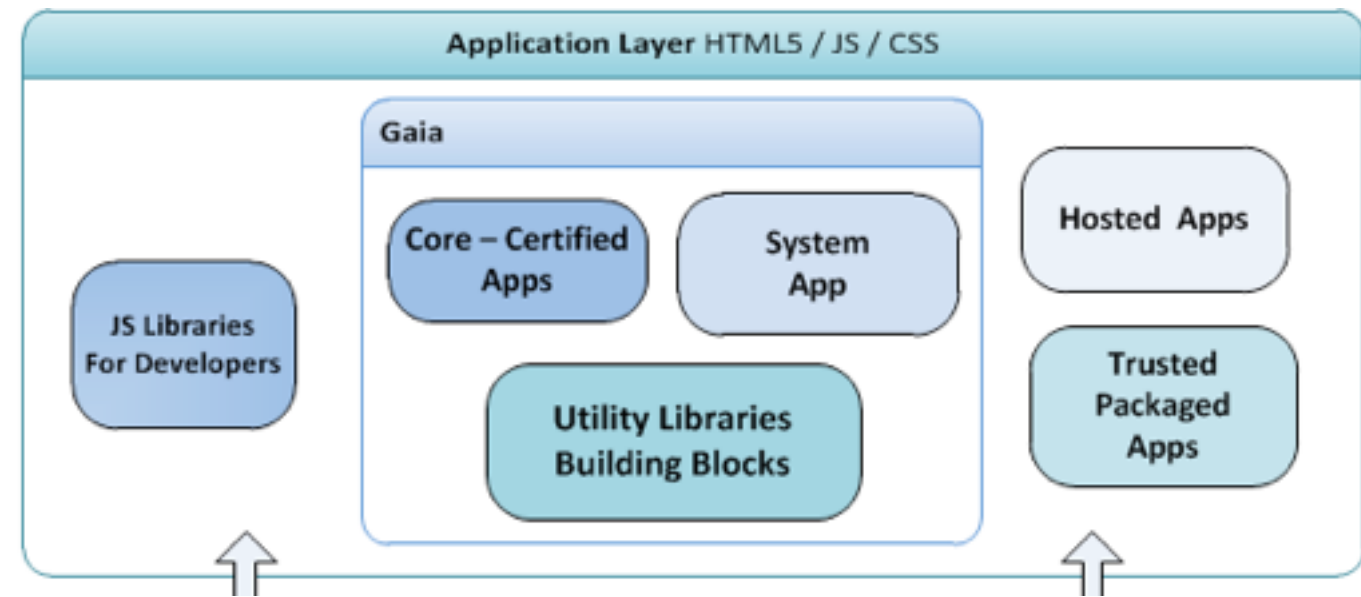
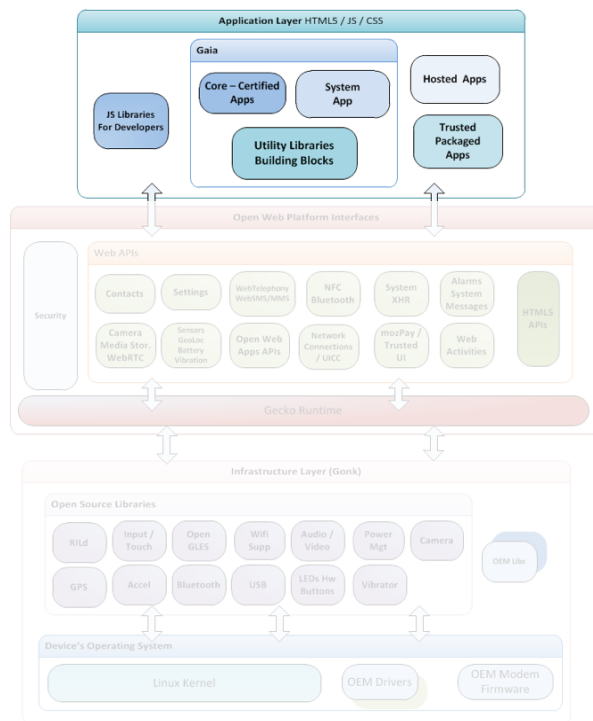
すべてWeb技術でできています！



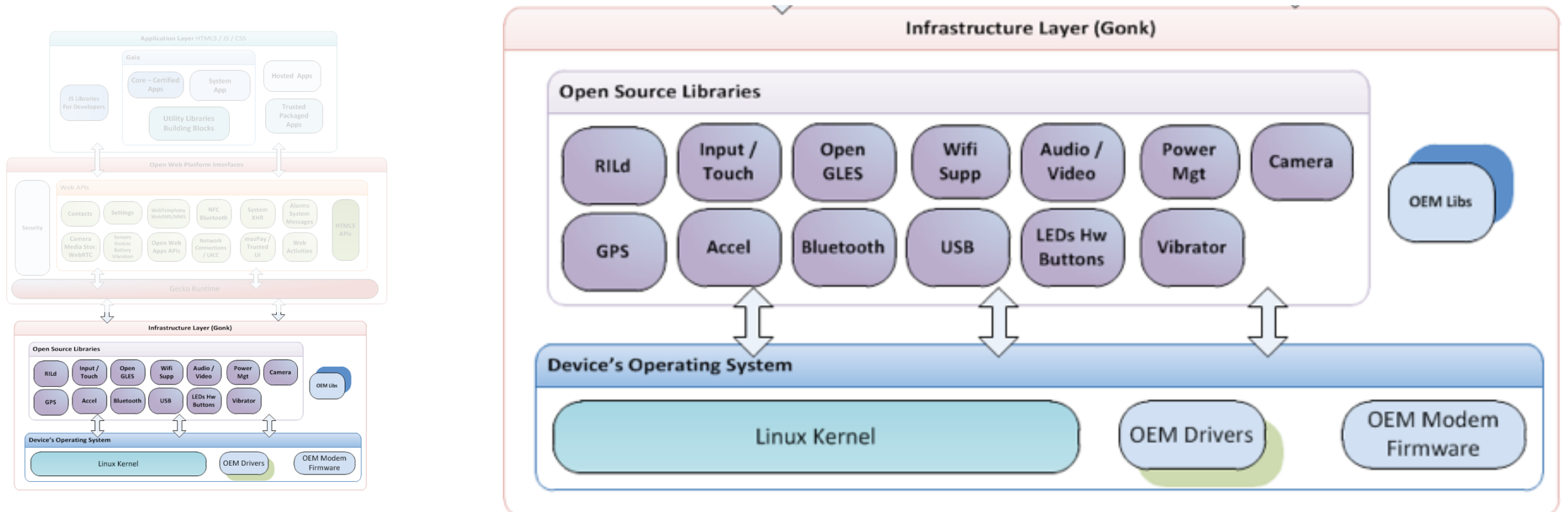




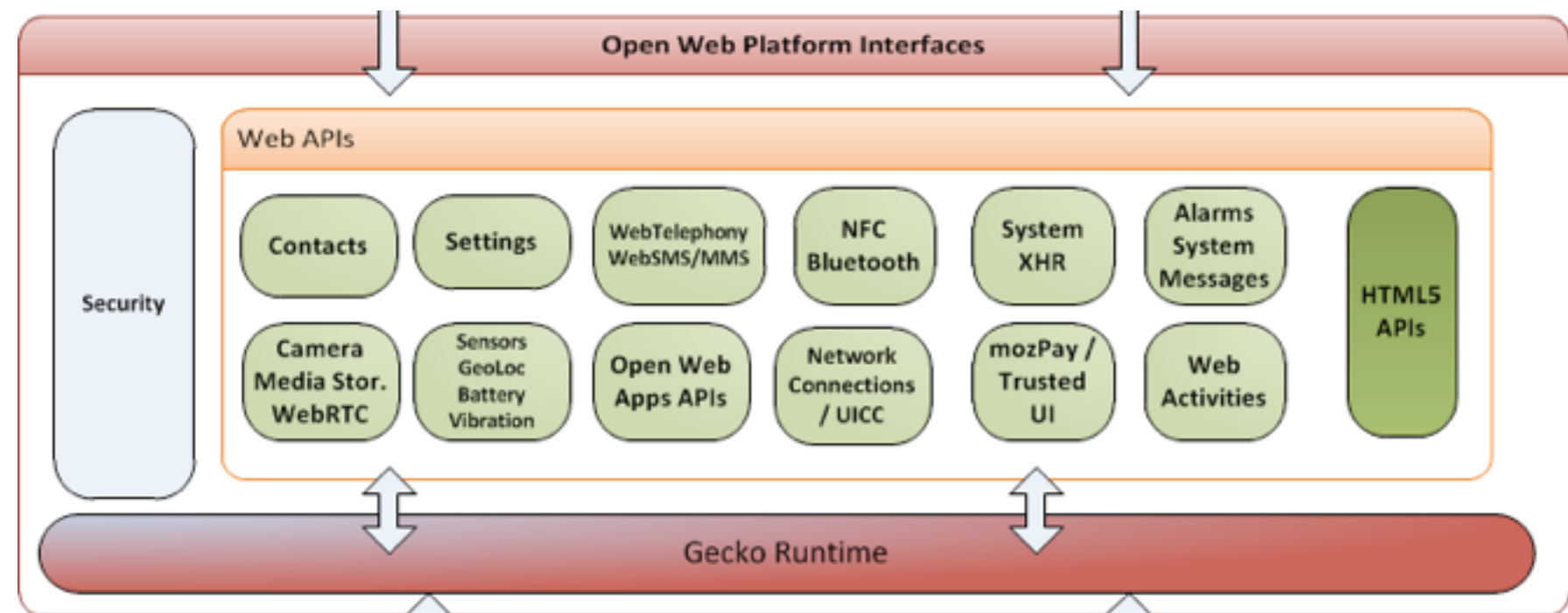
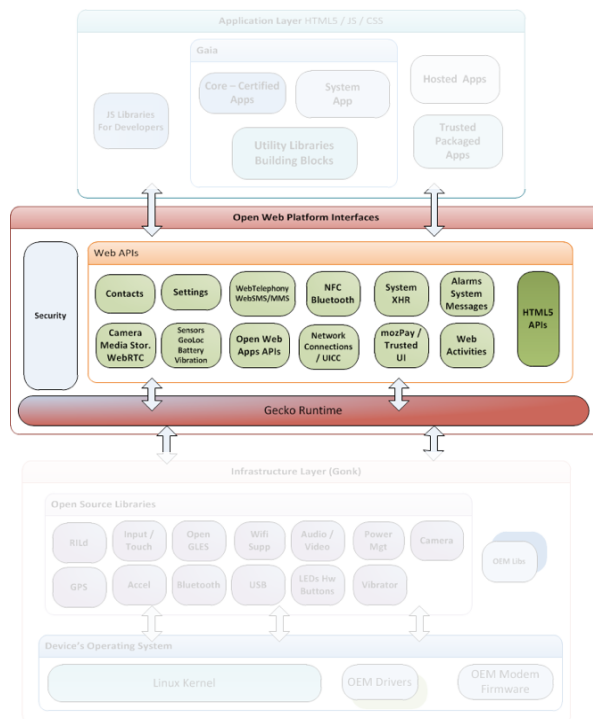
アプリケーション



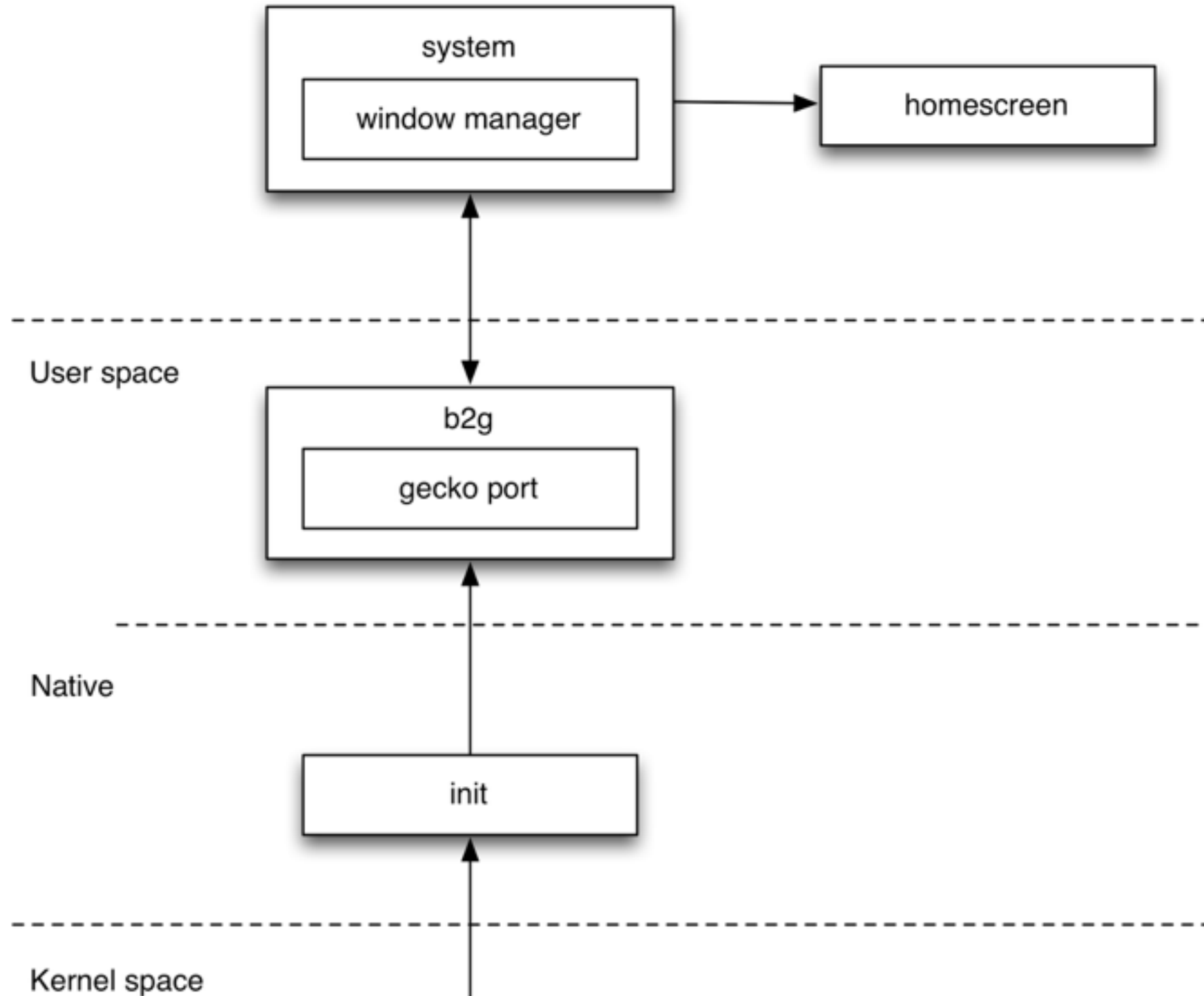
Gonk : インフラストラクチャ



Gecko : Open Webプラットフォーム



Browser Layer



すべてWeb技術でできています！



詳細はMDNのアプリセンターへ！

<https://developer.mozilla.org/Apps>



The screenshot shows the MDN App Center page. At the top, there's a navigation bar with the MDN logo, a sign-in button, and a dropdown menu for 'mozilla'. Below this, a secondary navigation bar contains links for 'ゾーン', 'WEB プラットフォーム', 'ツール', 'MDN デモ', and 'つながり'. The main header area includes the breadcrumb 'MDN > 開発者向けのWeb技術 > アプリセンター' and a search bar. The title 'アプリセンター' is prominently displayed. A large introductory text block explains the purpose of the center: to help developers create Open Web Apps using web standards and open technologies like Firefox OS. Below this, a sidebar on the left lists categories: 'クイックスタート', '設計', '開発', '公開', 'ツールとフレームワーク', and 'リファレンスアプリ'. The main content area is divided into three columns: '設計' (Design), '開発' (Development), and '公開' (Publishing). Each column contains a brief description and a list of links to relevant resources.

MDN > 開発者向けのWeb技術 > アプリセンター

アプリセンター

既存の Web 標準とオープンなテクノロジーを活用して、Firefox OS を含む様々な環境で動作し、リッチな体験ができる Open Web Apps の作成方法を学びましょう。

- クイックスタート
- 設計
- 開発
- 公開
- ツールとフレームワーク
- リファレンスアプリ

設計

クロスプラットフォームな優れたユーザ体験を提供するインストール可能な Open Web Apps の設計方法を学びましょう。

- アプリの構想
- UI レイアウトの基本
- Firefox OS スタイルガイド

開発

実際の開発にあたっての問題解決に必要なアドバイスとチュートリアルをまとめました。

- クイックスタート
- インストール可能な Firefox OS アプリ
- アプリ開発 FAQ

公開

ユーザと開発者を第一に考えたオープンなマーケットプレイスでアプリを配布しましょう。詳しくは [Marketplace ゾーン](#) を参照してください。

- アプリ公開の選択肢
- Marketplace への登録
- 決済

今日の内容

- アプリ開発環境の準備、確認
- HelloWorld
 - 初めてのアプリ作成
 - センサーからの入力に合わせた変化
- カメラアプリ
 - カメラからの入力の受けつけ
 - 画像処理
 - 保存

開発環境の準備

アプリの開発を始めるためには

- 次のソフトをインストールします
 - Firefox (Developer Editionだとさらに望ましい)
 - Firefox OS シミュレータ (2.0以降)
 - 実機接続のためのドライバ (Windowsのみ)
- 必要ないこと
 - SDKのダウンロード
 - 開発者登録、登録料の支払い、
規約 / 誓約書 / NDAへのサイン



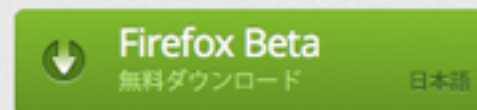
Firefox[®]

Developer Edition

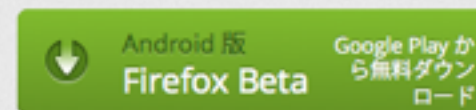
- 普通のFirefoxでも開発できますが、開発者が必要とする機能が充実しているため、こちらのほうが効率良く開発が行えます。
- <https://mozilla.org/firefox/channel/>よりダウンロードできます

Firefox Developer Editionのインストール

Firefox® Beta



[システムと言語](#) | [リリースノート](#) | [プライバシー](#)



[動作する機器](#) | [リリースノート](#) | [プライバシー](#)

<https://mozilla.org/firefox/channel/> へアクセス

Firefox Developer Editionのインストール

Firefox® Beta



安定した状態の新機能を試す

クリック

日本語



Android 版
Firefox Beta

Google Play から無料ダウンロード

[システムと言語](#) | [リリースノート](#) | [プライバシー](#)

[動作する機器](#) | [リリースノート](#) | [プライバシー](#)

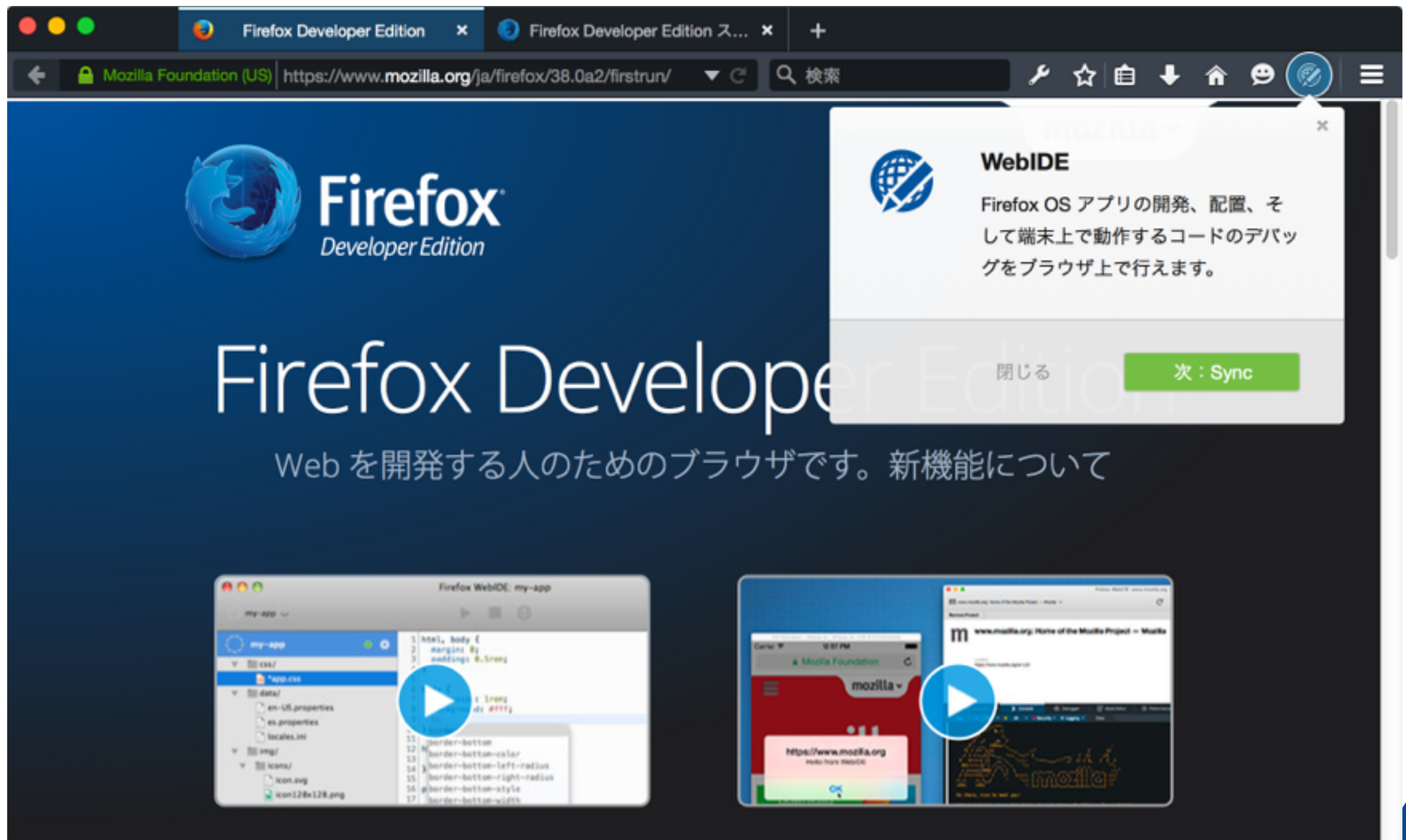
Firefox Developer Editionのインストール



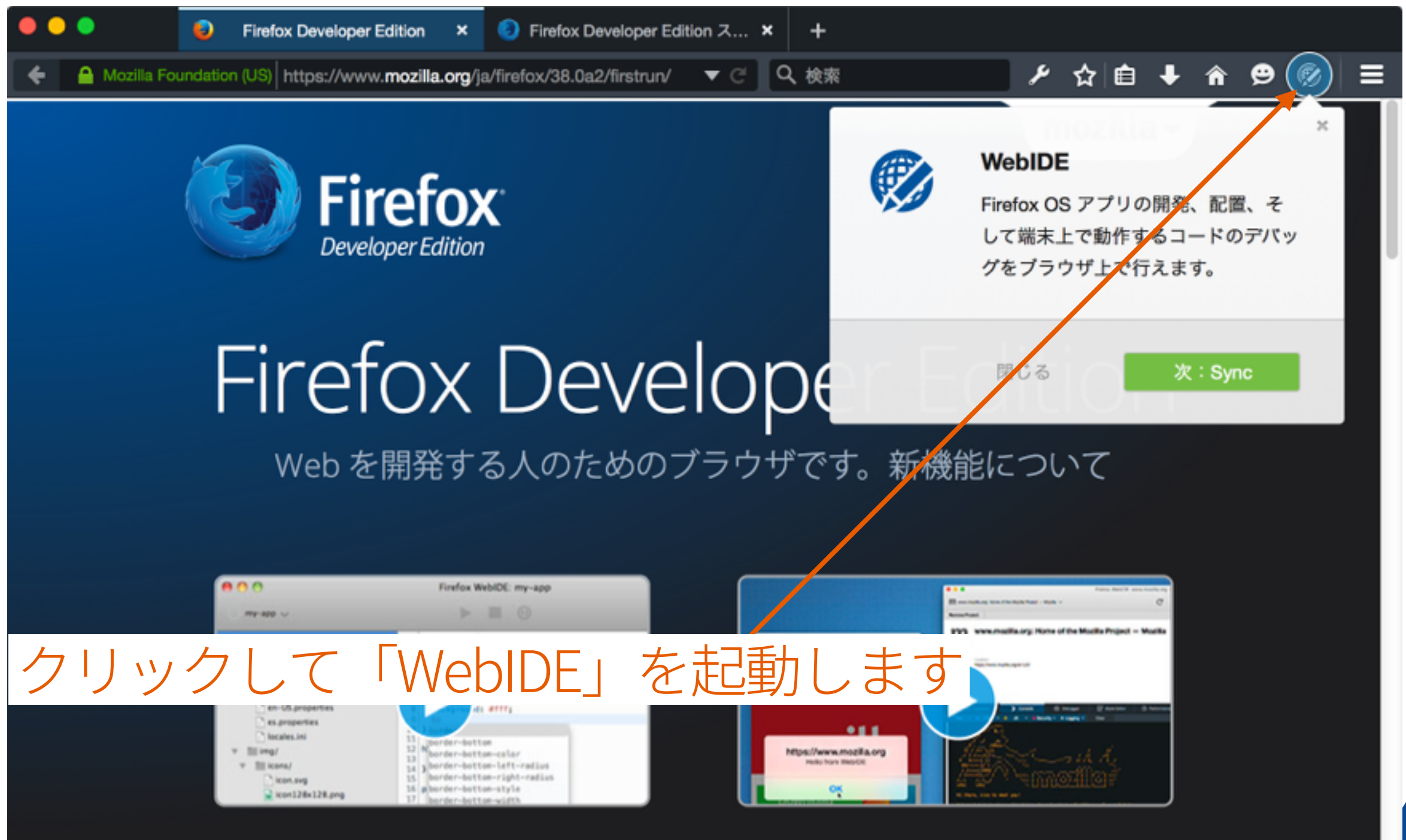
ボタンをクリックして、ダウンロード開始

インストールします

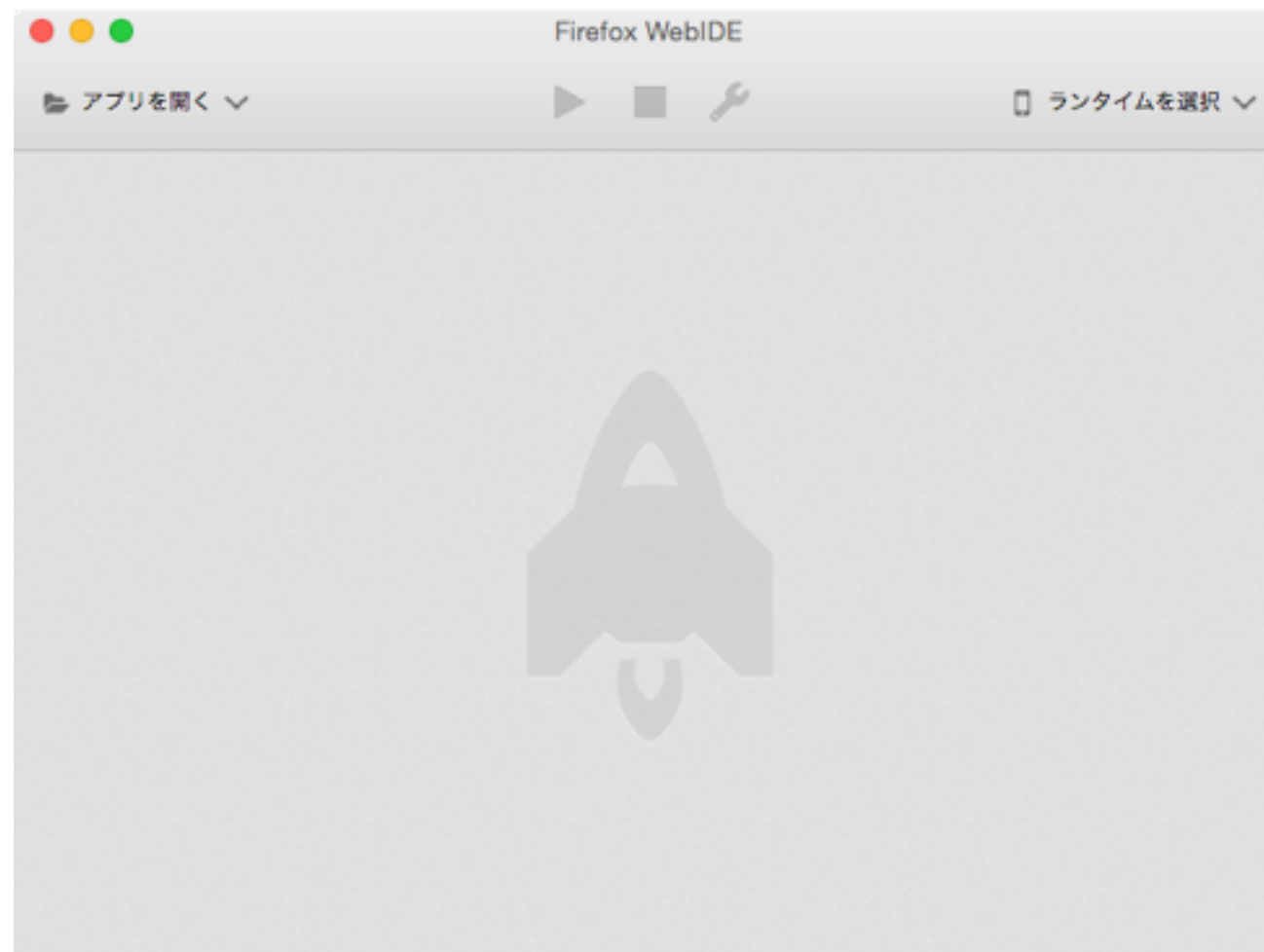
Firefox Developer Edition の起動画面



シミュレータのインストール



シミュレータのインストール（つづき）



このようなウィンドウが表示されます。

詳細：<https://developer.mozilla.org/docs/Tools/WebIDE>

シミュレータのインストール（つづき）



「ランタイムを選択」をクリックします

シミュレータのインストール（つづき）



「シミュレータをインストール」をクリックします

シミュレータのインストール（つづき）



「Firefox OS 2.1 シミュレータ」をインストールします

シミュレータのインストール（つづき）



「閉じる」をクリックして終了です

実機(Firefox Flame)との接続準備

- Mac の場合：
必要な作業はありません
- Linux の場合：
udevルールの追加が必要です
- Windowsの場合：
USBドライバのインストールが必要です
- 詳しくは <http://goo.gl/ZJV93x> を参照してください

以上で開発環境の準備は終了です

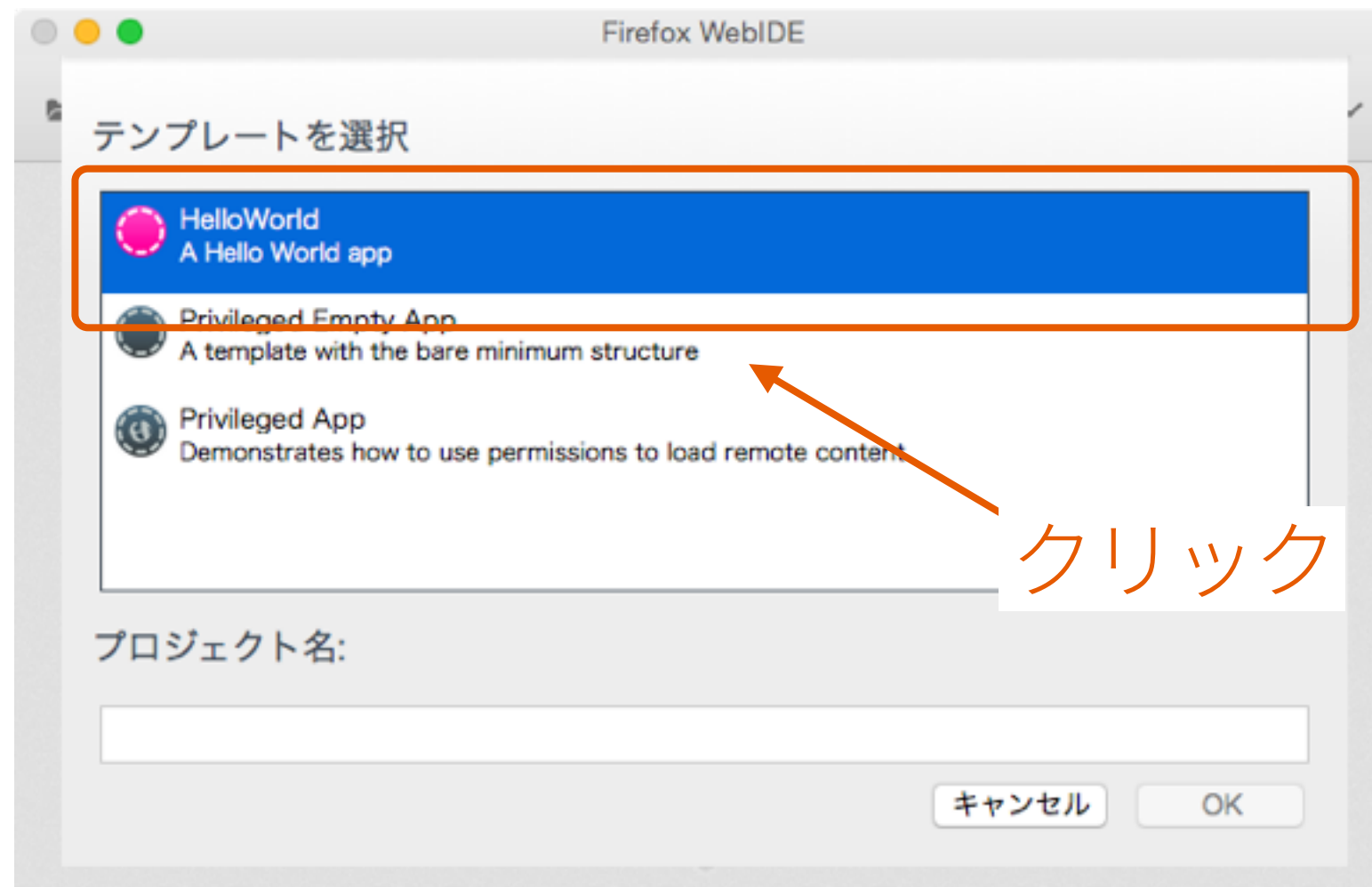
HelloWorld

HelloWorldアプリの作成



「アプリを開く」から「新規アプリ」を選びます

HelloWorldアプリの作成（つづき）



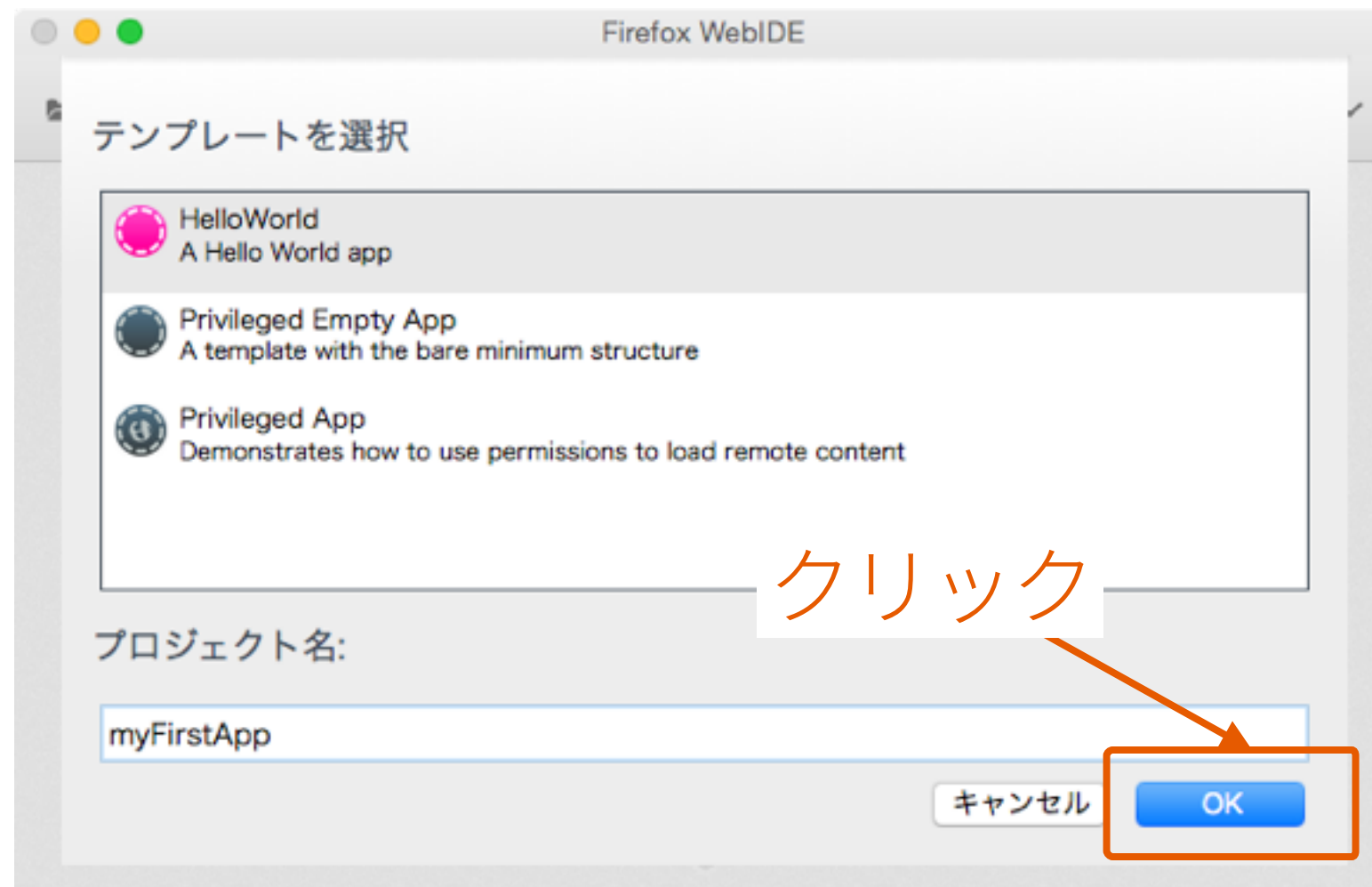
テンプレートの中からは「HelloWorld」を選びます

HelloWorldアプリの作成（つづき）



プロジェクト名にアプリの名前を入力します

HelloWorldアプリの作成（つづき）



OKボタンをクリックし、
テンプレートからアプリを作成します

HelloWorldアプリの作成（つづき）



このように表示されたアプリ作成終了です

シミュレータで動かそう

HelloWorldアプリの起動



上部中央にある、「▶」ボタンを押すと起動します

起動されたHello Worldアプリ



HelloWorldを改造しよう

改造後のイメージ



改造後のイメージ

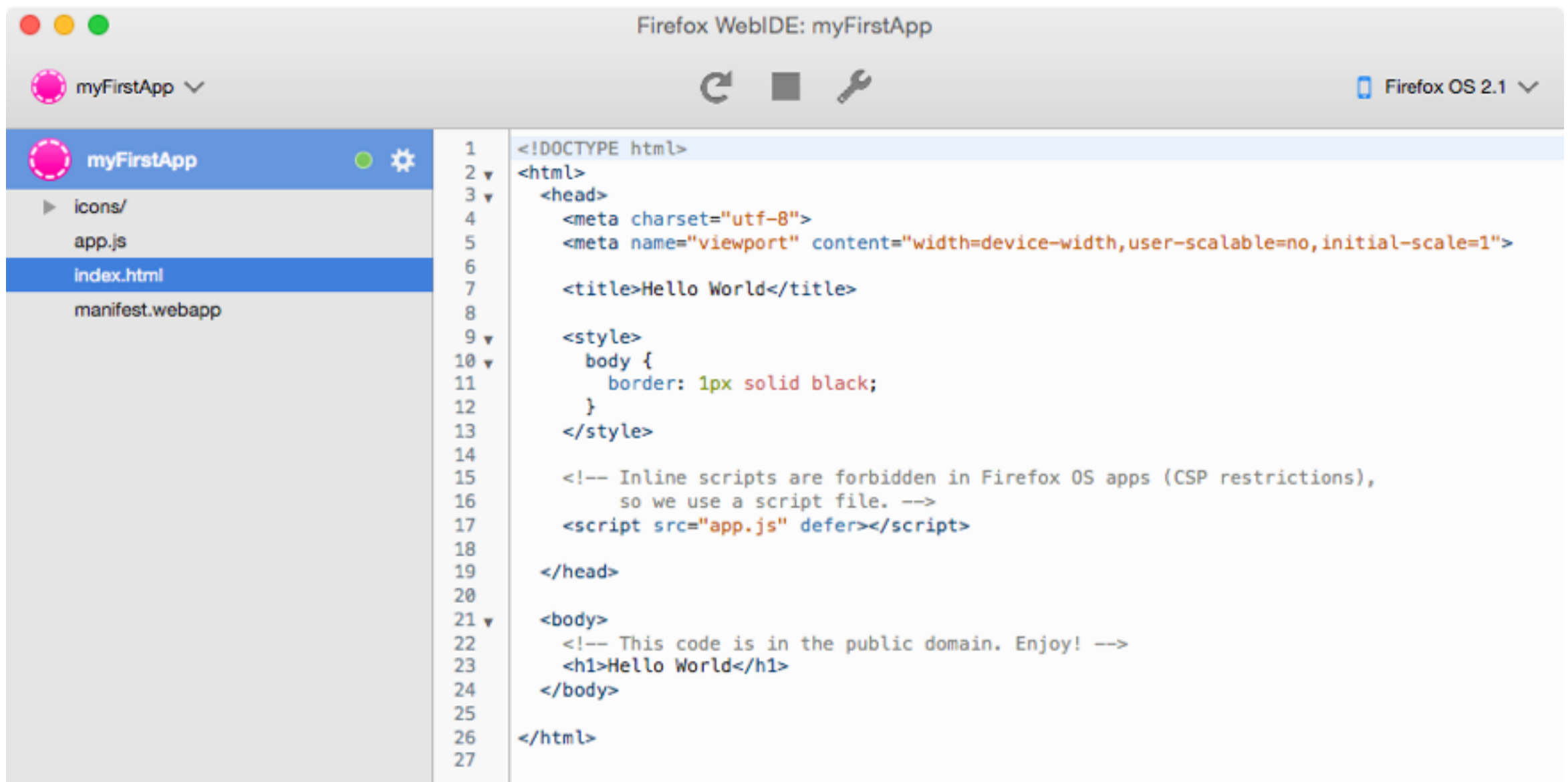


HelloWorldを改造しよう



index.html をクリックすると、右側にソースが表示されます

HelloWorldを改造しよう（つづき）



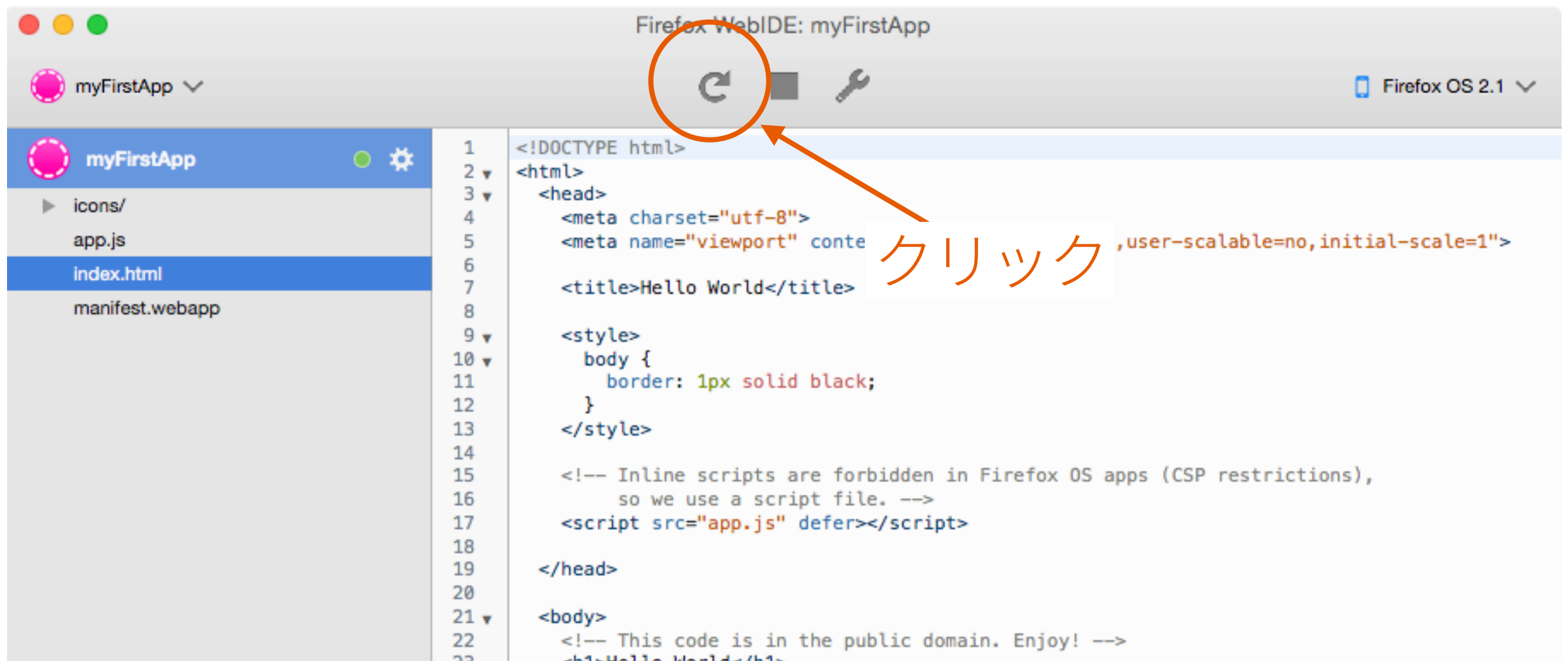
```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <meta name="viewport" content="width=device-width,user-scalable=no,initial-scale=1">
6
7     <title>Hello World</title>
8
9     <style>
10       body {
11         border: 1px solid black;
12       }
13     </style>
14
15     <!-- Inline scripts are forbidden in Firefox OS apps (CSP restrictions),
16          so we use a script file. -->
17     <script src="app.js" defer></script>
18
19   </head>
20
21   <body>
22     <!-- This code is in the public domain. Enjoy! -->
23     <h1>Hello World</h1>
24   </body>
25
26 </html>
27
```

HelloWorldを改造しよう（つづき）

```
<body>  
  <h1>こんにちは！せかい！</h1>  
</body>
```

該当部分を上記のように書き換え、保存します

Hello worldを改造しよう（つづき）



再読込ボタンをクリックで、アプリが再起動します。

ショートカットはCtrl-r もしくは Cmd-r です。

Hello worldを改造しよう（つづき）



- 表示される文字が変わりました！
- このように再読み込みを行うことで、変更内容を即座に反映できます。



CSSファイルを追加しよう

head要素を次のように変更します

```
<head>  
  <meta charset="utf-8">  
  <meta name="viewport" content="width=device-width,user-  
scalable=no,initial-scale=1">  
  
  <title>Hello World</title>  
  <link rel="stylesheet" href="app.css">  
  <script src="app.js" defer></script>  
</head>
```

Hello worldを改造しよう（つづき）

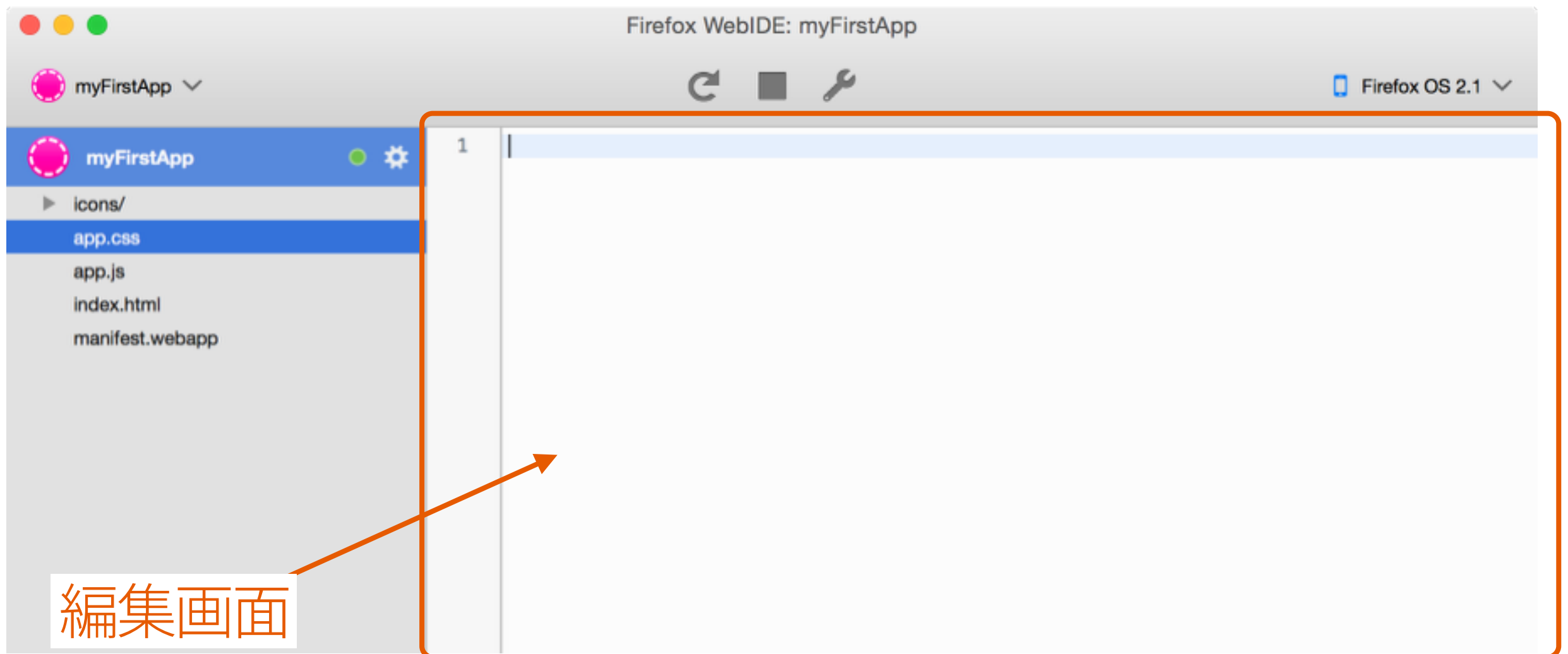


画面左のファイルブラウザで右クリック→「新規作成」

Hello worldを改造しよう（つづき）



Hello worldを改造しよう（つづき）



空のファイルが作成されます

app.cssの内容

```
body{  
  font-size: 18px;  
  overflow: hidden;  
  background-color: #00539F;  
}
```

```
h1{  
  font-size: 640%;  
  line-height: .8;  
  color: white;  
}
```

センサーの値を利用しよう

環境光センサー



周辺の明るさにあわせて数値が変わる



app.js の変更内容

```
var indicator;

var displayBrightness = function(element, value){
    element.textContent = value;
};

var handleDeviceLightEvent = function(event){
    var lux = event.value;
    if(indicator != null){
        displayBrightness(indicator, lux);
    }
};

window.addEventListener("devicelight", handleDeviceLightEvent);
```

app.js の変更内容 (つづき)

```
var initApp = function(){  
    indicator = document.querySelector("h1");  
};  
  
window.addEventListener("load", initApp);
```

DeviceLight イベント

```
var indicator;  
  
var displayBrightness = function(element, value){  
    element.textContent = value;  
};  
  
var handleDeviceLightEvent = function(event){  
    var lux = event.value;  
    if(indicator != null){  
        displayBrightness(indicator, lux);  
    }  
};  
  
window.addEventListener("devicelight", handleDeviceLightEvent);
```

光の強さによって音階が変わるアプリ



周辺が明るくなると音が高くなる



<http://goo.gl/PGDLai>

モーションセンサー

<http://goo.gl/G7XN4k>

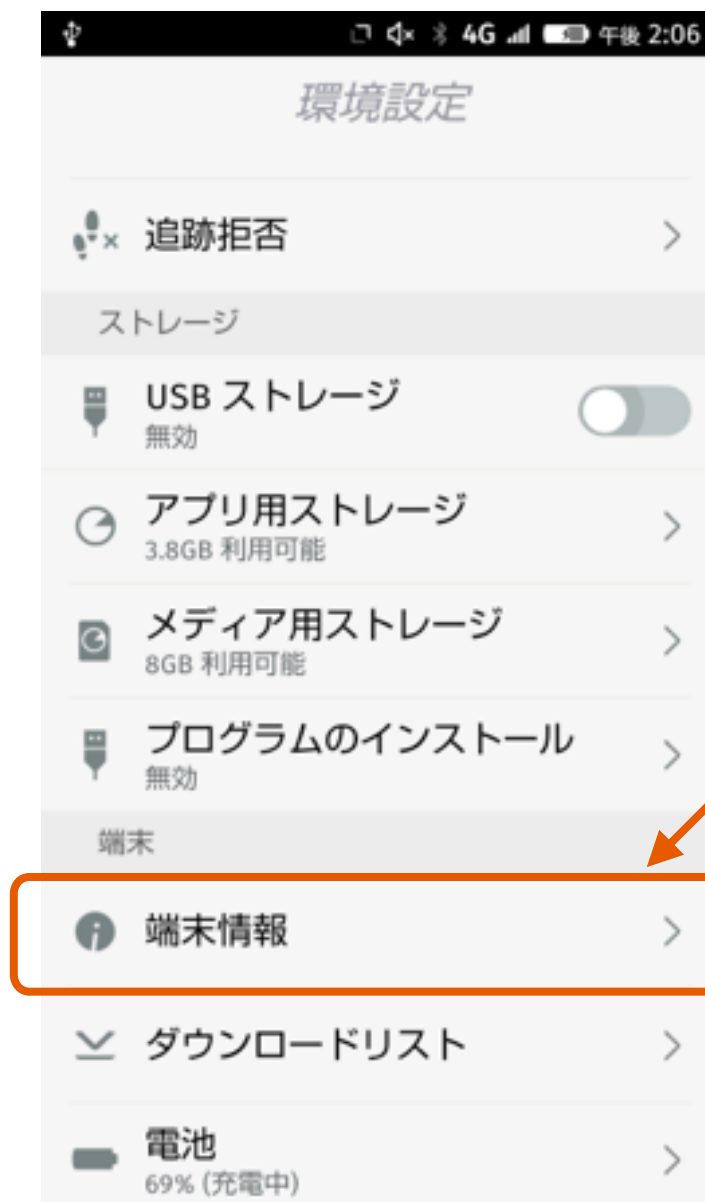
フォームとの連携

<http://goo.gl/QR7KF>

実機で動かそう

実機の設定を開発者向けに変更します

実機の設定変更



タップ

「環境設定アプリ」の端末情報をタップします

実機の設定変更



タップ

「その他の情報」をタップします

実機の設定変更



チェック

「開発者メニュー」にチェックを入れます

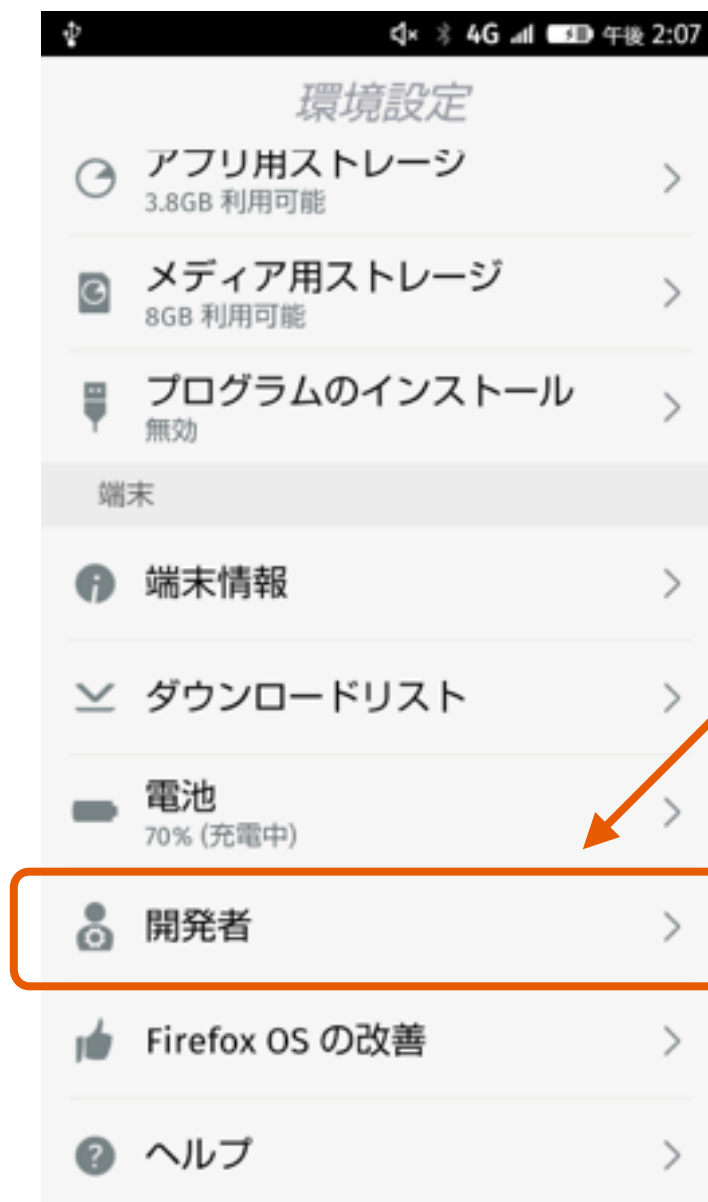
実機の設定変更



開発者がメニューに追加される

アプリのトップに「開発者」が追加されます

実機の設定変更



タップ

「開発者」をタップします

実機の設定変更



「ADBと開発ツール」へ変更

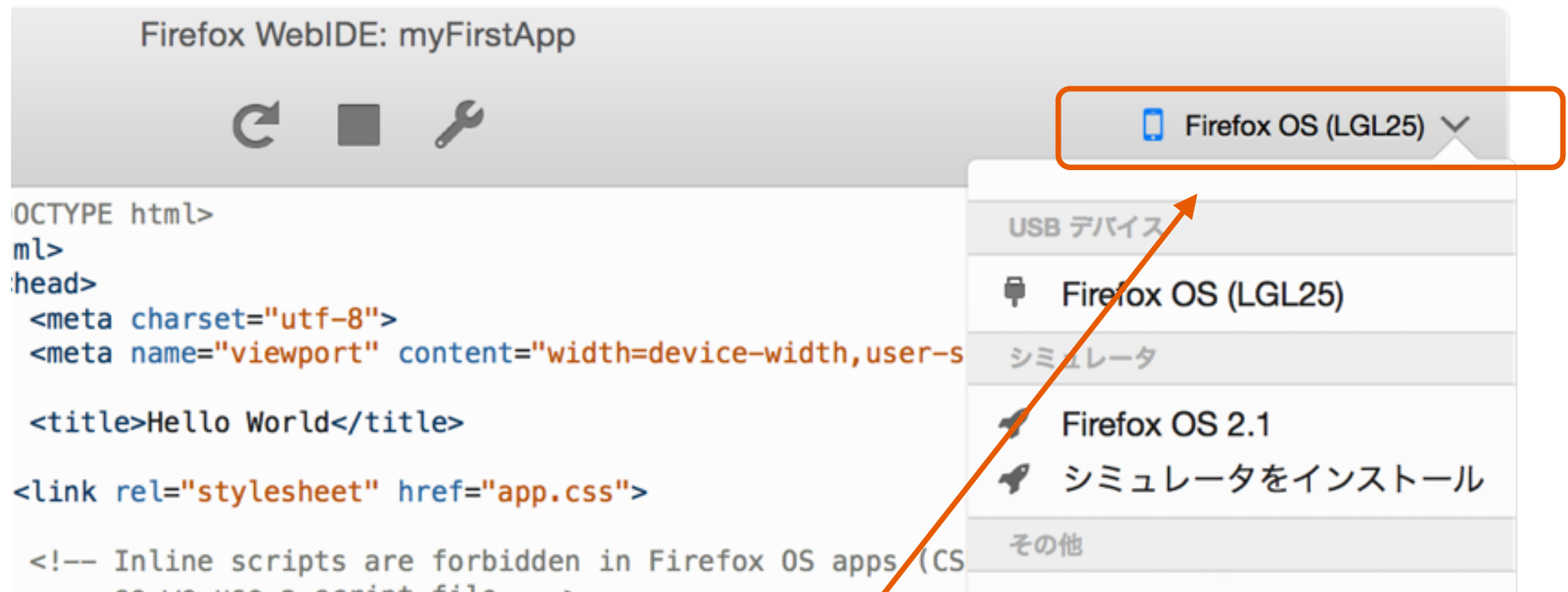
USB経由のデバッグを「ADBと開発ツール」に変更します

PC側の設定

<http://goo.gl/6N7BeP>

PCとの接続

WebIDEを利用したPCとの接続



「ランタイムを選択」から端末を選択

シミュレータとの接続と同様に端末を選べば、接続します

カメラを利用しよう

カメラからの入力を得るためのAPI

- GetUserMedia
 - ビデオチャット用のAPI
 - ビデオストリームが取得できる
 - 簡単、細かい制御ができない
- CameraAPI
 - カメラアプリを書くためのAPI
 - 撮影、録画、フィルタ、フォーカスの調整、 etc
 - 複雑、細かい制御ができる

getUserMediaを利用する

getUserMediaを利用した写真撮影の流れ

1. カメラからの入力ストリームを得る
2. 得たストリームをvideo要素の入力に指定する
3. Canvasから2Dの描画コンテキストを得る
4. 撮影するタイミングで、
2のvideo要素を、
3で得た描画コンテキストに対して描画
5. 4で得た結果をDataURIとして取得

今回作成するアプリ

- 機能
 - GetUserMediaを利用して写真を撮影する
 - 写真をスマホ内の記憶領域に保存する
 - 保存結果OSの通知機能を利用して通知する
- 利用するAPI
 - GetUserMedia
 - DeviceStorage
 - Desktop Notification

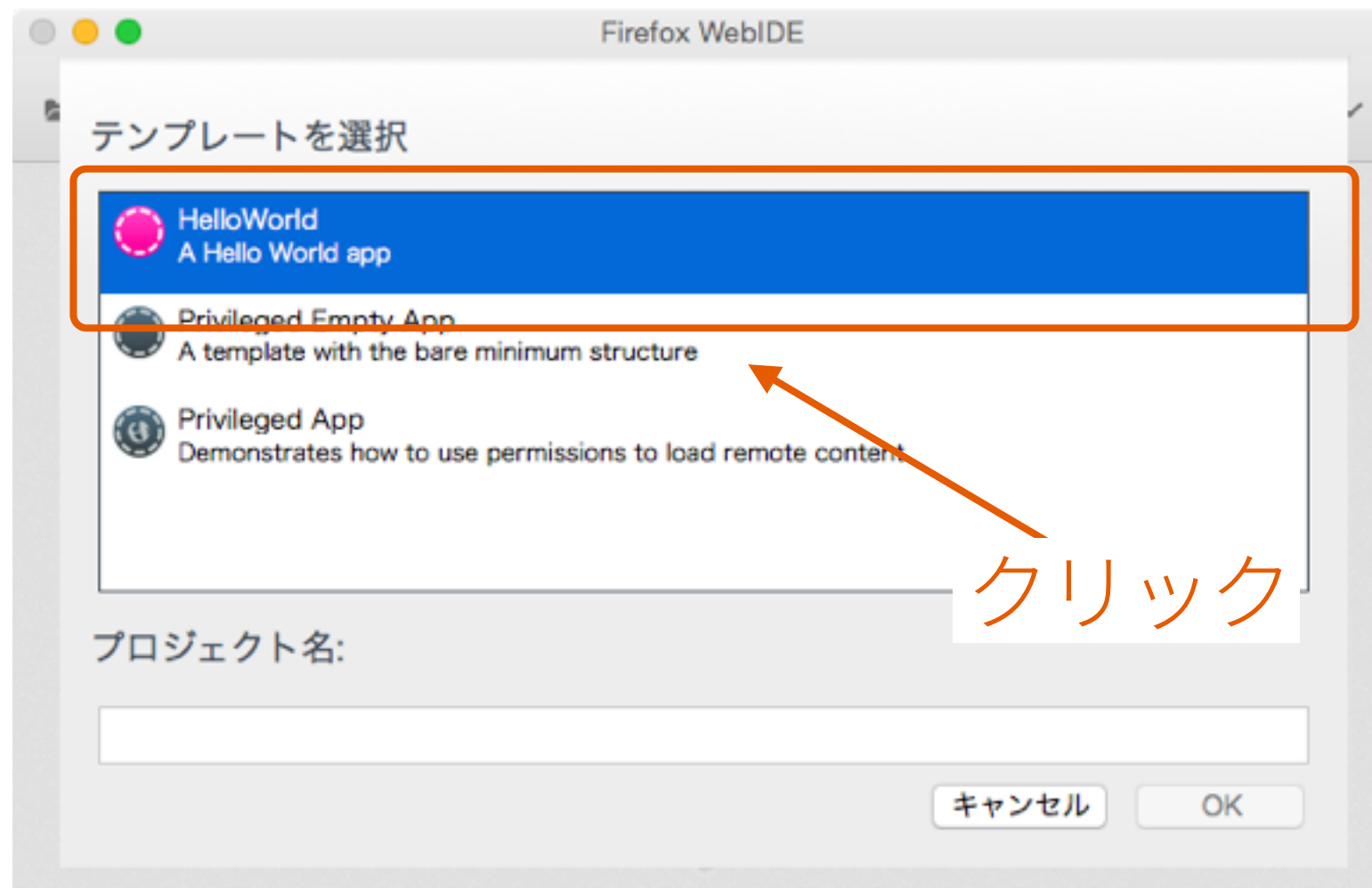
完成版：<http://goo.gl/9fHYwC>

カメラアプリのテンプレート作成



「アプリを開く」から「新規アプリ」を選びます

カメラアプリのテンプレート作成（つづき）



テンプレートの中から「HelloWorld」を選びます

カメラアプリのテンプレート作成（つづき）



プロジェクト名にアプリの名前を入力します

manifest.webapp の編集

```
{
  "name": "camera-with-getusermedia",
  "description": "A Hello World app",
  "launch_path": "/index.html",
  "icons": {
    "16": "/icons/icon16x16.png",
    "48": "/icons/icon48x48.png",
    "60": "/icons/icon60x60.png",
    "128": "/icons/icon128x128.png"
  },
  "type": "privileged",
  "permissions": {
    "video-capture": {
      "description": "写真を撮るため"
    },
    "device-storage:pictures": {
      "description": "撮影した写真の保存のため",
      "access": "readwrite"
    },
    "desktop-notification": {
      "description": "写真が保存できたかどうかを通知するため"
    }
  }
}
```

manifest.webapp の編集

```
{
  "name": "camera-with-getusermedia",
  "description": "A Hello World app",
  "launch_path": "/index.html",
  "icons": {
    "16": "/icons/icon16x16.png",
    "48": "/icons/icon48x48.png",
    "60": "/icons/icon60x60.png",
    "128": "/icons/icon128x128.png"
  },
  "type": "privileged",
  "permissions": {
    "video-capture": {
      "description": "写真を撮るため"
    },
    "device-storage:pictures": {
      "description": "撮影した写真の保存のため",
      "access": "readwrite"
    },
    "desktop-notification": {
      "description": "写真が保存できたかどうかを通知するため"
    }
  }
}
```

この部分を追記



manifest.webapp の編集

```
{
  "name": "camera-with-getusermedia",
  "description": "A Hello World app",
  "launch_path": "/index.html",
  "icons": {
    "16": "/icons/icon16x16.png",
    "48": "/icons/icon48x48.png",
    "60": "/icons/icon60x60.png",
    "128": "/icons/icon128x128.png"
  },
  "type": "privileged",
  "permissions": {
    "video-capture": {
      "description": "写真を撮るため"
    },
    "device-storage:pictures": {
      "description": "撮影した写真の保存のため",
      "access": "readwrite"
    },
    "desktop-notification": {
      "description": "写真が保存できたかどうかを通知するため"
    }
  }
}
```

慎重に扱うべきAPIに関しては、
利用を明示する必要があります



manifest.webapp の編集

```
{
  "name": "camera-with-getusermedia",
  "description": "A Hello World app",
  "launch_path": "/index.html",
  "icons": {
    "16": "/img/icon-16.png",
    "48": "/img/icon-48.png",
    "60": "/img/icon-60.png",
    "128": "/img/icon-128.png"
  },
  "type": "progressive_web_app",
  "permissions": [
    {
      "name": "video-capture",
      "description": "写真を撮るため"
    },
    {
      "name": "device-storage:pictures",
      "description": "撮影した写真の保存のため",
      "access": "readwrite"
    },
    {
      "name": "desktop-notification",
      "description": "写真が保存できたかどうかを通知するため"
    }
  ]
}
```

くわしくは

https://developer.mozilla.org/ja/Apps/App_permissions

をご覧ください



index.html

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <meta name="viewport" content="width=device-width,user-scalable=no,initial-scale=1">

    <title>Camera With GetUserMedia</title>

    <script src="app.js" defer></script>
    <link rel="stylesheet" href="app.css">
  </head>

  <body>
    <div class="container">
      <video id="preview"></video>
      <canvas id="canvas"></canvas>
      <img id="photo">
    </div>
    <button id="shoot">摄影</button>
  </body>

</html>
```

index.html (body 要素のみ抜粋)

```
<body>
  <div class="container">
    <video id="preview"></video>
    <canvas id="canvas"></canvas>
    <img id="photo">
  </div>
  <button id="shoot">撮影</button>
</body>
```

app.css

```
body{
  margin: 0;
  padding: 0;
}
.container{
  padding-bottom: 4em;
  width: 100%;
}
#preview{
  width: 100%;
}
#canvas{
  display: none;
}
```

```
#shoot{
  font-size: 100%;
  width: 100%;
  padding: 1em;
  position: fixed;
  bottom: 0;
  left: 0;
}
#photo{
  width: 100%;
}
```

app.js : 変数と定数

```
navigator.getUserMedia =  
  navigator.getUserMedia || navigator.mozGetUserMedia;
```

```
const SIZE = {  
  width: 800,  
  height: 600  
};
```

```
var storage;  
var elements;  
var gc;
```

app.js : アプリの初期化

```
var initApp = function(){
  elements = {
    preview: document.querySelector("#preview"),
    canvas: document.querySelector("#canvas"),
    photo: document.querySelector("#photo"),
    shoot: document.querySelector("#shoot")
  };
  gc = elements.canvas.getContext("2d");
  // キャンバスの解像度をサイズに合わせる

  elements.canvas.width = SIZE.width;
  elements.canvas.height = SIZE.height;
  getVideoStream().then(setPreviewStream, log);
  elements.preview.addEventListener("canplay", enableShootButton);

  storage = navigator.deviceStorage("pictures");
};
window.addEventListener("load", initApp);
```

app.js : カメラからの入力ストリーム獲得

```
var doGetVideoStream = function(resolve, reject){
    navigator.getUserMedia({video: true, audio: false},
        function(stream){
            window.addEventListener("unload", function(event){
                stream.stop(); // アプリ終了時にストリームを停止
            });
            resolve(stream);
        }, reject);
};

var getVideoStream = function(){
    return new Promise(doGetVideoStream);
};
```

app.js : カメラからの入力の表示

```
var setPreviewStream = function(stream){  
    if(elements != null && elements.preview != null){  
        elements.preview.src =  
            window.URL.createObjectURL(stream);  
        elements.preview.play();  
    }  
};
```

app.js : 撮影ボタンの有効化

```
var enableShootButton = function(){  
    if(elements != null && elements.shoot){  
        elements.shoot.addEventListener("click", takePhoto);  
    }  
};
```

app.js : 撮影機能

```
var takePhoto = function(){
  if(gc != null && elements != null &&
    elements.preview != null && elements.canvas != null){

    gc.drawImage(elements.preview,
                  0, 0,
                  SIZE.width, SIZE.height);
    var blob = elements.canvas.toBlob(showAndSavePhoto,
                                       "image/jpeg");

  }
};
```

app.js : 撮影した写真の表示と保存

```
var createFilename = function(){
    return "handson-20130310-" + (new Date()).valueOf() + ".jpg";
};
var showAndSavePhoto = function(blob){
    if(elements != null && elements.photo != null){
        elements.photo.setAttribute("src",
                                    window.URL.createObjectURL(blob));
    }
    if(storage != null){
        var request = storage.addNamed(blob, createFilename());
        request.onsuccess = showSavingPhotoSuccess;
        request.onerror = showSavingPhotoError;
    }
};
```

app.js : 通知

```
var sendNotification = function(message){  
    new Notification(message);  
};  
var showSavingPhotoSuccess = function(){  
    sendNotification("写真が保存されました");  
};  
var showSavingPhotoError = function(){  
    var msg = "写真の保存に失敗しました";  
    log(msg);  
    sendNotification(msg);  
};  
var log = function(msg){  
    console.log(msg);  
};
```

まとめ

すべてWeb技術でできています！



詳細はMDNのアプリセンターへ！

<https://developer.mozilla.org/Apps>

MDN > 開発者向けのWeb技術 > アプリセンター

アプリセンター

既存の Web 標準とオープンなテクノロジーを活用して、Firefox OS を含む様々な環境で動作し、リッチな体験ができる Open Web Apps の作成方法を学びましょう。

- クイックスタート
- 設計
- 開発
- 公開
- ツールとフレームワーク
- リファレンスアプリ

設計

クロスプラットフォームな優れたユーザ体験を提供するインストール可能な Open Web Apps の設計方法を学びましょう。

- アプリの構想
- UI レイアウトの基本
- Firefox OS スタイルガイド

開発

実際の開発にあたっての問題解決に必要なアドバイスとチュートリアルをまとめました。

- クイックスタート
- インストール可能な Firefox OS アプリ
- アプリ開発 FAQ

公開

ユーザと開発者を第一に考えたオープンなマーケットプレイスでアプリを配布しましょう。詳しくは [Marketplace ゾーン](#) を参照してください。

- アプリ公開の選択肢
- Marketplace への登録
- 決済